外国語学部

（専攻別のディプロマポリシー）
【英語コミュニケーション専攻】
◎外国語の運用能力と「英語学」「英語教育」「異文化コミュニケーション」等の知識を統合した教養を実践的に活用できる
・「英語学」「英語教育学」「コミュニケーション学」の知識を理解し、適用することができる
・英語を実践的に運用できる
・英語で論理的、分析的、批判的に思考し、表現できる
・英語で他者と積極的にコミュニケーションをとり、協調・協働して行動できる

【英語・リベラルアーツ専攻】
◎外国語の運用能力と文化・社会・歴史等の知識を統合したグローバルな教養を実践的に活用できる
・文化・社会・歴史の知識を理解し、適用することができる
・英語を実践的に運用できる
・英語で論理的、分析的、批判的に思考し、表現できる
・他者を理解し、他者と協働して課題を発見し、解決することができる

【ドイツ語・ドイツ文化専攻】・【ドイツ語・ヨーロッパ専攻】・【ドイツ語・ヨーロッパ文化専攻】
◎不確実な社会において、ドイツ・ヨーロッパ文化に対する深い理解を背景とし、多様性を尊重し、ドイツ語をはじめとする言語やメディアを駆使して、
円滑な異文化間コミュニケーションを行うことができる人物
・協働的な課題への取り組みを通じて、実践的なドイツ語の運用ができる
・ドイツ語および広く言語メディアを活用し、情報の収集、批判的な分析を行い、自分の意見として表現することができる
・主体的かつ自律的な課題への取り組みを通じて、自ら問題を発見し、解決に導くことができる
・異文化を理解し、多様性を尊重するとともに、自らの文化を省察し、より豊かな文化的実践につなげることができる

【中国語・グローバルコミュニケーション専攻】
◎中国語の実践的な運用能力と中国・中国語圏に関する歴史文化や社会経済の知識を活用し、円滑なコミュニケーションを図ることができる
・中国語や中国に関する知識を理解し、適用することができる
・中国語を実践的に運用できる
・論理的、分析的、批判的思考を展開し、活動に生かすことができる
・中国語で他者と積極的にコミュニケーションをとり、協調・協働して行動できる

経済学部

経済学部は、「道徳と経済の一体」を教育理念とし、次のような知識と能力を備えた人材を育成します。
①経済学の専門知識と倫理観
・経済社会についての深い理解を得るために不可欠な経済学の知識
・経済活動における倫理的判断力と、社会に貢献する高い品性
②課題発見力とデータに基づく洞察力
・経済問題、社会問題の根本原因を見極め、本質を把握する洞察力
・経済モデルを用いて複雑な現象を抽象化し、定量的に分析する技能
・データに基づく実証的アプローチで経済現象を分析し、客観的な解決策を提案する能力
③グローバルな視点と多様性の理解・協働力
・国際経済の動向を理解し、グローバルな課題に対応できる能力
・地域の特性や文化的多様性を理解し、それらを尊重する姿勢
・異なる背景を持つ他者と効果的にコミュニケーションを取り、協力して課題に取り組む能力
④実践的応用力
・経済学の知識を実社会の問題に適用し、具体的な解決策を導き出す能力

経営学部

経営学部は大学全体の学位授与方針を踏まえた上で、【知識・理解】【汎用的能力】【態度・志向性】の各項目について、
以下の基準に到達するように編成された教育課程において、所定の単位を修得した者に対し学士（経営学）の学位を授与する。

【知識・理解】
・経営学の基本的知識を理解し、現実を経営学の枠組みで捉えることができる
・現実の経営を分析して課題を発見し、その解決策をデザインすることができる
・ビジネスを通して、社会的価値をデザインすることができる
【汎用的能力】
・経営情報やビッグデータを収集し、適切な分析手法を適用することができる
・経営課題の分析・改善に関する知識・技術を様々な領域に応用することができる
・多様なステークホルダーと適切なコミュニケーションをとることができる
【態度・志向性】
・集団におけるリーダーシップやチームワークを効果的に発揮することができる
・社会・日常的な活動において、主体的かつ能動的に取組むことができる

（専攻別のディプロマポリシー）
【ビジネスデザイン専攻】
・企業価値創造のための経営戦略やビジネスモデル、ビジネスシステム、経営課題の解決策などがデザインできる。
【AI・ビジネス専攻】
・経営学および AI・データサイエンスを理解し、企業の中で DX をデザインしてプロジェクトを推進できる。
【スポーツビジネス専攻】
・スポーツを用いて新しいビジネスをデザインできる人材や、スポーツとビジネススキルを使って社会課題の解決策をデザインできる
【ファミリービジネス専攻】
・ファミリービジネスの諸問題（事業承継、事業革新、ガバナンスなど）を捉えて、その解決策や予防策などがデザインできる。

国際学部

国際学科
国際学部は、多様性をつなぎ、新しい価値を生み出す「共創力」を身に付けた人材を育成します。共創力とは、次の 4 つの力を総合した力です。
① 洞察力（Insight）：世界や日本について幅広く理解し、多様な知識を結び付けながら論理的に考えることができる。
② 表現力（Expression）：自分の考えを的確に伝え、対話を通して他者と協働することができる。
③ 共感力（Empathy）：多様な価値観や文化を尊重し、相手の立場を理解することができる。
④ 行動力（Action）：課題を発見し、計画・実践・改善を重ねながら解決に取り組むことができる。
国際学部では、学部共通の育成目標である「共創力」を基盤として、各専攻の教育目的・特色に応じたディプロマ・ポリシーを
以下のとおり定めます。

【日本学・国際コミュニケーション専攻】
・「Japan Studies」「多文化共生」「国際関係」に関する専門知識をつなぎ、社会で実践的に活用することができる
・日本語の高度な言語運用技術を身に付け、効果的に情報を認識･発信することができる
・英語および第二外国語（ドイツ語、中国語、韓国語）を用いて、積極的に意思疎通を図ることができる
・日本語や日本文化について専門的に学び、“自分たち（日本）”を世界に発信することができる
・自己理解と他者理解の表裏一体性を理解し、多様な価値との真の共生の可能性を探ることができる

【国際交流・国際協力専攻】
・多文化共生の考え方に基づき、国際協力・国際交流の知識と外国語の技術を活用し、実社会で自ら考え、行動することができる
・国際交流・国際協力の実践的な知識と技術を活用できる
・英語および第二外国語（ドイツ語、中国語、韓国語）を用いて、積極的に意思疎通を図ることができる
・社会的課題を特定し、解決策を提案することができる
・他者の痛みを理解し、異文化に共感し、共に生きる道を見出すことができる

【国際社会･国際情報専攻】
・国際協力を構想し実践する力：国際協力の制度・政策・組織を理解し、社会課題の解決に向けて活用できる
・国際政治・安全保障を分析する力：国際法・経済・政治・安全保障などの理論を用いて、国際情勢を多角的に読み解くことができる
・ガバナンスの視点から政策を提案する力：多主体協働の観点から、実現可能な政策・事業を構想し提案することができる
・協働と合意形成を導く力：多様な利害関係者と対話・交渉し、協働を推進しながら合意形成を図ることができる
・平和と持続可能性に向けて行動する力：平和・人権・持続可能性の価値を理解し、責任ある行動を選び取ることができる

グローバルビジネス学科
【グローバルビジネス専攻】
◎英語の運用技術と経済･経営および国際地域･国際関係に関する専門知識を、グローバルビジネスの現場で実践的に活用することができる
・グローバル社会の共通言語たる英語を用いてコミュニケーションができる
・グローバル社会を経済学･経営学に基づいて多面的に理解し、その問題を実証分析できる
・グローバル社会の一員として、倫理観をもって実践的に行動できる

工学部
工学部では以下のような知識・技術を修得させ、行動することができる人材を育成することを目標とする。
・デジタル技術を駆使した課題解決のための技術的知識・経験や実装力の基礎を身につける。
・社会課題の発見、共感・理解を経て解決に至る道筋を発想・設計し、技術力を活かしてその解決に向けて行動できる。
その際、チームを立ち上げ、多くの人々の力を課題解決に向けて結集できる。
・文化や価値観・社会規範などの多様性を理解した上で、社会における技術の役割やあるべき姿、さらに技術が社会に与える影響などを考慮しつつ、技術を起点とした解決の方向を議論・提案できる。また社会の変容に対応して、自らを成長させることの重要性を理解し、そのための努力ができる。

<大学院>

言語教育研究科
◎言語教育研究科は、「知徳一体」の建学の理念のもと、仁愛の精神をもった教育者、研究者、実務家の育成を期し、よりよい平和な社会の構築に貢献できるように、以下のような学位授与の方針を定めています。
・人間社会形成の最も重要な基盤である言語、文化、教育について深く理解し、その多様性をみすえたグローバルな視点から物事を客観的・実証的に考えることができる
・言語、文化、教育などの分野で解決すべき問題を発見し、その解決方法を自ら探求して理論的・実践的展開を図り、それを社会に発信することができる
・言語、文化、教育などの分野の専門家として、グローバル社会における教育力・指導力を発揮できる

経済研究科

◎経済研究科は、「知徳一体」の体現を目指し、「知」＝経済・経営学、「徳」＝人として進むべき道、の両方を理解し、社会にとって有為な人材を育成することを目的としています。
そうした人材を育成するために、本研究科では、所定の単位以上を修得し、かつ研究指導を通じて次に掲げるような各専攻・課程の目標を達成し、論文審査に合格した者に学位を授与します。

（専攻別のディプロマポリシー）
【経済学専攻】
・人間性・道徳性に適合する経済活動の原理を探求することができる
・グローバル化によるダイナミックな構造変化を、理論的かつ計量的に分析することができる
・先端的な経済学の領域において、国際的な視野に立って先導的な研究ができる
・経済における人間性・地域文化を重視できる
【経営学専攻】
・国際的視野を持ち、複雑な社会状況を読みぬき、問題解決を図ることができる。
・国際的な視点に立って先導的な研究を行うことができる。
・現代社会の要請に応えた学際志向、問題志向、政策志向を持つことができる。
・公共機関、企業、ＮＰＯなどで高度な専門性を生かして管理業務を担うことができる。

【経済学・経営学専攻 博士課程】
・研究者として自立して活動するために必要な高度の能力とその基盤となる学識を身につけている。
・高度な専門業務に従事するために必要な高度の能力とその基盤となる学識を身につけている。
・提出された博士論文の成果の学術的、または実務的貢献が大きい。

学校教育研究科

【道徳教育研究専攻】
◎道徳教育についての優れた実践的指導力を身につけた教員として指導ができ、深い専門的学識を持った研究者として研究ができる
・道徳教育や道徳科のよりよい在り方を探究することができる
・道徳教育を通じて学校の教育力を高める指導ができる
・道徳教育の本質的な理解に基づく道徳科の高度な実践を行うことができる
・教員及び研究者としての自己の品性を磨こうと前進することができる